

釧路湿原自然再生協議会再生普及小委員会

第13回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ

日時： 令和3年8月5日（木） 14：00～15：30

場所： 釧路地方合同庁舎 7階 第5会議室

----- 議事次第 -----

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) ワーキンググループの取り組みについて
3. その他
4. 閉 会

----- 配布資料一覧 -----

○第13回湿原学習のための学校支援ワーキンググループ 資料

- ・ 資料1 第12回ワーキンググループ会合以降の取組み
- ・ 参考資料1 湿原学習のための学校支援ワーキンググループの設置について
- ・ 参考資料2 「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ」の取組み課題

出席者名簿(敬称略・順不同)

< 専門家 >

所属等	氏 名
再生普及小委員会委員長	高橋 忠一 ○
北海道教育大学釧路校 教授	境 智洋 ○

< 学校教員 >

所属等	出席者
釧路市立中央小学校	前田 進太郎 ○
釧路市立新陽小学校	柴田 康吉 ○
釧路市立芦野小学校	木村 浩二 ○
釧路町立別保小学校	佐藤 祐紀 ○
標茶町立標茶小学校	萬 拓馬
鶴居村立幌呂中学校	長谷 泰昌 ○
釧路湖陵高等学校	池田 耕 ○

< 学校教育行政機関等 >

機 関 名	出席者
北海道教育庁釧路教育局 教育支援課 義務教育指導班	指導主事 平林 延祥 ○
釧路市教育委員会 学校教育部 教育支援課	指導主事 関本 裕介 ○
釧路町教育委員会 教育部 指導主事室	室長 國井 彩子
標茶町教育委員会 指導室	指導室長 秋山 豊 ○
弟子屈町教育委員会 指導室	指導室長 辻川 智宏
鶴居村教育委員会 管理課 学校教育係	係長 清野 玲子
釧路湿原国立公園連絡協議会	事務局次長 元岡 直子 ○
	事務局員 松橋 由希 ○
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	自然再生企画官 印南 陽子 ○

< 事務局 >

機 関 名	出席者
環境省北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	自然保護官 瀧口 さやか ○
公益財団法人北海道環境財団	環境教育課長 山本 泰志 ○
	環境教育課 安田 智子 ○

第12回ワーキンググループ会合以降の取組み

1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

○映像資料等のとりまとめ、連携校への提供、学校への周知

湿原を題材とした学習に取り組む学校を主な対象として映像資料をとりまとめ、授業での活用促進を図る。

・ 標茶小学校5年生担任教諭からの要望を受け、以下の映像資料をとりまとめ提供した。

▶ 春の達古武湖

▶ 木のお医者さん崎川先生に聞いてみよう! (※1)

「元気な木を見分けてみよう！」

「湿原のシラカバを観察してみよう」

「木が湿原で生きるってどういうこと？」

「木の年齢を調べてみよう！」

※1) 達古武湖周辺フィールドにて5月初旬に樹木
医崎川氏による解説を収録

▶ 生き物たちの命をつなぐ知恵 (※2)

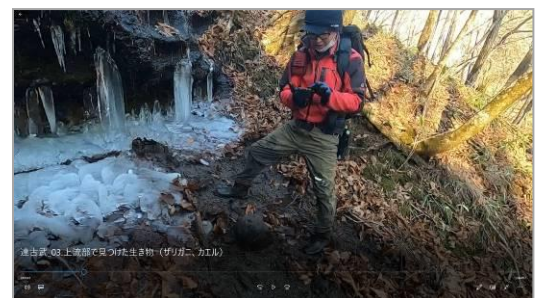
「水の中の小さな生き物たち」

「林、林床にいる生き物」

「上流部で見つけた生き物」

「捕獲できたお魚」

※2) 教員研修「生き物たちの命をつなぐ知恵」(令
和3年2月開催)で作成した映像資料



・ 教員研修のオンライン報告ページを作成

「タンチョウレスキューの現場から～釧路市動物園の取り組み」(令和3年1月開催)において、講師から紹介された動画、講演録をオンライン上(※3)でとりまとめた。今後、学校へ周知し、道徳や総合的な学習の時間での活用促進を図る。

※3) https://www.kushiro-ee.jp/field/tancho_rescue.html

・ 今後、児童の設定テーマや担任教諭からの要望に応じて、動画等の資料を作成し、学校に提供する。

・ 作成した一連の映像資料はWEBサイトにとりまとめ、授業での活用促進を図る。

オンライン講座
「タンチョウレスキューの現場から～釧路市動物園の取り組み」
(2021年1月23日開催) 報告サイト

地域の人口と国の政策による環境変動によって遺伝数を回復して来たタンチョウですが、より人に近い場所で暮らすようになったことで、「事故」の増加や、様々な人とのあつれきが生まれています。

講座では、現在のタンチョウをとりまく現状や、動物園への保護啓蒙の厚意、タンチョウの命をつなぐ現場で行われている様々な取り組みをご紹介いたしました。園内で撮影したバックヤードの映像や、手作りの治療器具などもご覧いただけるながら、私たちのできることをみつめていただく機会になればと思います。

(開催日) 2021年1月23日(土)
(参加費) 2,100円
(講師) 藤原 裕子さん(釧路市動物園 ツル担当獣医師)
(主催) 道庁学習のための学校支援ワーキンググループ事務局
(協賛) 釧路市立自然環境事務所

講座内での紹介動画
個人情報に關する映像は一部加工して掲載しています。

1 田舎とタンチョウ (過去・再来)
2 道路を渡るタンチョウ

2. 自然再生の学校教育への活用促進

自然再生事業が行われているフィールドを活用した授業づくりの支援を行う。

○達古武地区森林再生および達古武湖自然再生事業地の活用

・標茶町立標茶小学校

➤ フィールドの下見

- 実施日時 : 令和3年5月14日 15:00~16:30
実施場所 : 達古武地区森林再生事業地(苗畑)、
夢ヶ丘遊歩道、達古武湖(湖畔)
対 象 : 5年生担任教諭3名
主な内容 : フィールド、活動内容の確認



➤ フィールド学習(1回目)

- 実施日時 : 令和3年7月9日 9:40~11:50
実施場所 : 達古武地区森林再生事業地(苗畑)、
夢ヶ丘遊歩道、達古武湖(湖畔)
対 象 : 5年生50名
主な内容 : フィールドで出会う多様な事象の観
察、森と湿原のつながりの学習



➤ フィールド学習(2回目)

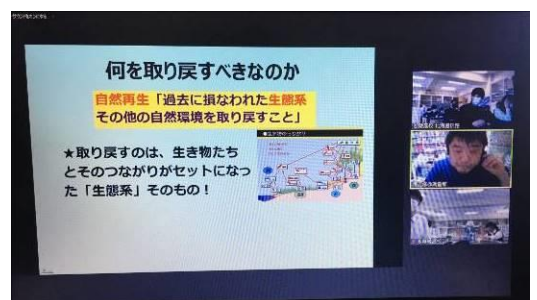
- 実施日時 : 令和3年9月16日 9:40~11:50(予定)
実施場所 : 達古武地区森林再生事業地(苗畑)、
夢ヶ丘遊歩道、達古武湖(湖畔)
対 象 : 5年生50名
主な内容 : 児童の学習テーマを踏まえたフィールドでの活動

《以下、森林再生小委員会事務局として環境省釧路自然環境事務所が実施》

・釧路湖陵高等学校

➤ 釧路湿原巡検に向けた事前学習

- 実施日時 : 令和3年6月22日 13:20~14:10
実施場所 : 釧路湖陵高等学校(オンライン)
対 象 : 理数科1年生40名、宮城県多賀城
高校1年生3名
講 師 : さっぽろ自然調査館
主な内容 : 釧路湿原自然再生の取り組みと巡
検で行う調査について



➤ フィールドでのトラップ設置

- 実施日時 : 令和3年6月23日 13:30~16:30
実施場所 : 森林再生事業地、東沢
対 象 : 理数科1年生 代表生徒8名
指 導 : さっぽろ自然調査館
主な内容 : フィールドの確認、地表性昆虫トラ
ップの設置



➤ 釧路湿原巡検

- 実施日時 : 令和3年7月2日 8:30~16:30
実施場所 : 森林再生事業地、東沢、湖畔
対 象 : 理数科1年生40名、宮城県多賀城
 高校1年生3名
指 導 : さっぽろ自然調査館
主な内容 : 地表性昆虫および水辺の生き物調査



○幌呂地区湿原再生事業地の活用

《以下、湿原再生小委員会事務局として国土交通省釧路開発建設部が実施》

・阿寒高校

➤ フィールド学習

- 実施日時 : 令和3年7月16日 12:20~13:30
実施場所 : 幌呂地区湿原再生事業区
対 象 : 1年生17名、2年生16名
主な内容 : 自然再生事業の説明、湿原再生区の
 湿原植生や魚類観察、泥炭の観察(特
 性や成り立ち、重要性等)



・つるいっ子の体験活動グループ（サルルンガード）

➤ フィールド学習

- 実施日時 : 令和3年7月31日 10:00~11:30
実施場所 : 幌呂地区湿原再生事業区
対 象 : 小学3年生から中学3年生まで11名
主な内容 : 自然再生事業の説明、湿原再生区の
 湿原植生や魚類観察、泥炭の観察(特
 性や成り立ち、重要性等)、ヨシの
 移植体験



3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

○教員研修講座の実施

・「環境教育の充実～地域とタンチョウとのつながり～」

[日時] 令和3年7月16日 9:00~12:45

[場所] 釧路市動物園

[講師] 飯間 裕子氏（釧路市動物園ツル担当獣医師）

[参加者] 9名

[内容] 動物園で保護収容されているタンチョウを見学し、担当獣医師による幅広い業務に関する解説や現場での様々な取り組みについて、実際の治療道具も用いて解説を受けた。

[共催] 釧路教育研究センター



○釧路湿原流域環境を題材とした学びのプロセスの支援、実践等の発表の場作り

年間を通した授業づくりの支援を行うとともに、学校、施設等と連携し、児童の取り組みを地域に発信する場づくりを行う。

・フィールド学習のコーディネート

自然再生事業地や釧路湿原を活用したフィールド学習のコーディネートを行う。

➤ 釧路市立中央小学校 5 年生

今後 2 回、温根内ビジターセンターを拠点として学習を実施予定。

➤ 釧路町立別保小学校 5 年生

フィールドの下見

- 実施日時 : 令和 3 年 7 月 5 日 16:00~17:15
実施場所 : 細岡展望地および周辺フィールド
対 象 : 教員 5 名、地域コーディネーター、
図書ボランティア
主な内容 : フィールド、活動内容の確認



フィールド学習

- 実施日時 : 令和 3 年 7 月 12 日 9:25~11:25
実施場所 : 細岡展望地および周辺フィールド
対 象 : 5 年生 20 名
主な内容 : 湿原景観、竪穴住居跡、湧水湧き
出し口、丘陵地の森林の観察、湧
水量の測定、腐葉土の透水実験



➤ 標茶町立標茶小学校 5 年生

※) 2. 自然再生の学校教育への活用促進 を参照

➤ 鶴居村立幌呂中学校 1, 2 年生

10 月に鶴居村温根内周辺の湿原を訪問し、理科
の視点から学習を実施予定。



訪問予定のフィールドの様子

- ・発表会のコーディネート、とりまとめにあたっての助言
研究発表ボードを活用し、探求的な学習に取り組む学校を対象に、中間発表会や学習発表会等のコーディネートを行う。



昨年度の発表会の様子（別保小学校）

- ・学外での発表会の企画
取り組みの広報、普及を目的として、学外での研究発表ボードの展示会「釧路湿原サイエンスフェア」を実施する。



昨年度の展示会の様子（釧路市役所）

湿原学習のための学校支援ワーキンググループの設置について

2015年 7月10日
釧路湿原自然再生協議会
再生普及小委員会 決定

1. 背景・経緯

- 釧路湿原自然再生協議会（以下、「協議会」）は、第21回会合（2015年3月16日）で第3期釧路湿原自然再生普及行動計画を採択した。
- その際、学校教育を対象とした環境教育の推進を図ってきた「環境教育ワーキンググループ」は第14回（2015年2月5日）を以て終了し、新たに（仮称）「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ」を設置して学校教育における湿原の活用を推進していくことが併せて了承された。
- 第25回再生普及小委員会（2015年7月10日）において、名称を「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ」とすることとされた。

2. 設置目的

- 湿原学習における学校支援を効果的に進めるために、現場教員や学校教育の専門家、教育行政機関等と一層の連携を図ることが可能な体制を構築し、総合学習や教科学習等、学校教育を通じた湿原の活用に向けて、効果的な支援方策の検討、取組みの実践を行い、その成果を踏まえて、流域の学校における普及方策を検討する。

3. 構成

- 再生普及小委員会委員長
- 学校教育行政機関、学校教員、北海道教育大学等
- 委員長の判断により必要に応じて関係者に出席を招請
- 事務局は、環境省釧路自然環境事務所（再生普及小委員会事務局）が担当する。

4. 会合開催方針

- 年2回程度（主として学校の長期休暇中）、「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ会合」の開催を予定する。
- 必要に応じて構成員との意見交換、情報共有を図り、取組みの実践を行う。
- 会合開催状況は、再生普及小委員会に報告する。

「湿原学習のための学校支援ワーキンググループ」の取組み課題

2015年 7月10日
釧路湿原自然再生協議会
再生普及小委員会 決定

1. 湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進

- 湿原を題材とした、学校現場で活用可能な学習素材をとりまとめて情報発信を行うとともに、効果的な支援方策を検討する。
- ※ 学習素材の活用方法の例示、モデル授業の開発と実践、授業実践に必要な資材の貸出等、検討を行った支援方策のうち、着手可能なものから取組みを行い、情報発信および支援の実践を通して活用促進を図る。

2. 自然再生の学校教育への活用促進

- 自然再生事業地を学習素材としたモデル授業の検討を行う。
- ※ 学校教育で活用可能なものについて、モデル授業の開発および実践を図る。実践内容、支援メニューをとりまとめて情報発信を行い、活用の促進を図る。

3. 学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及

- フィールドを活用した教員研修を教育委員会と連携して企画、実施するとともに、湿原に係る各種情報、現地見学会やモニタリング等の自然再生への参加機会等の情報を教員に届ける仕組みを検討する。
- ※ 着手可能なものから、随時、情報提供を行う。

4. その他

- 上記に関わらず、教育行政機関や学校現場からのニーズ、専門家からの意見を受け、効果的な支援方策を検討する。
- ※ 着手可能なものから支援の実践を行うとともに、情報を随時とりまとめ、学校に対して支援メニューの情報提供を行う。